

瑞穂市第2次男女共同参画基本計画の進捗状況について

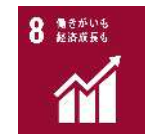
本市は、平成22年12月に「瑞穂市男女共同参画推進条例」を制定しました。令和2年3月に「瑞穂市第2次男女共同参画基本計画」を策定し、期間を令和2年度から令和11年度までの10ヵ年としています。計画がより実効性のあるものとなり、客観性を持った的確な進行管理を行うために、推進審議会を開催し、指標項目を使って進捗状況を把握、点検して、公表します。今回、令和7年度末時点の実績報告を取りまとめ、進捗状況として報告するものです。

基本目標Ⅰ 男女共同参画の意識を高め合うまちづくり

- 主要課題1 男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し、意識啓発
- 主要課題2 人権尊重意識の醸成
- 主要課題3 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の推進

**基本目標Ⅱ だれもが活躍できるまちづくり【瑞穂市女性活躍推進計画】**

- 主要課題1 政策・方針決定過程への女性の参画の促進
- 主要課題2 男性中心型労働慣行等の変革とワーク・ライフ・バランスの推進
- 主要課題3 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

**基本目標Ⅲ だれもが安心して暮らせるまちづくり**

- 主要課題1 家庭生活・地域生活における男女共同参画の推進
- 主要課題2 生涯を通じた健康支援
- 主要課題3 困難な状況におかれている人々への支援
- 主要課題4 あらゆる暴力の根絶にむけた支援【瑞穂市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する基本計画】

**【達成度区分】**

A:達成できた(80%以上) B:一部不十分であった(60～79%) C:不十分であった(59%未満)

基本目標Ⅰ 男女共同参画の意識を高め合うまちづくり



男女共同参画社会の実現のためには、人権の視点が何よりも重要なものになります。固定的な役割分担意識に基づく偏見や習慣は、個人の能力の発揮や生き方の選択の幅を狭めており、互いにその個性を認めて理解し合い、すべての人が自分らしく生きるためには、あらゆる場面での様々な啓発事業や学習・教育活動を推進し、一人ひとりの人権意識を高める必要があります。

主要課題	施策の方向
1. 男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し、意識 啓発	(1)固定的性別役割分担意識をなくすための広報・啓発の充実
2. 人権尊重意識の醸成	(1)人権尊重に関する啓発の強化
3. 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の推進	(1)保育・教育における男女共同参画の推進 (2)男女共同参画に関する学習機会の充実

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	1	担当課	総合政策課		
成果指標			指標		
【市民意識調査】社会全体として(男女の地位が)平等であると感じる人の割合			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			9.5%	50.0%	
令和7年度進捗状況	実績	「働き方」をテーマにワールド・カフェを開催。学生・社会人合計で32名が参加した。他に講演会を3回開催し、防災における男女共同参画、女性活躍推進をテーマにした。 子ども支援課窓口で啓発物品の配布を開始した。	指標(実績)		
			—		
	課題等	セミナー、講演会の開催、啓発物品の配布、SNSやホームページの情報発信等、多角的かつ地道な普及・啓発活動を継続していく。	進捗状況		
			—		
次年度の実施計画		市民意識調査は次回令和10年度に実施予定。 令和8年度は、講演会等の開催(ワールドカフェ、講演会、ワークショップ)、広報紙やSNS、ホームページでの啓発記事、県が開催するセミナー等の情報発信を継続的に実施する。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	2	担当課	地域福祉高齢課		
成果指標			指標		
人権尊重に関する啓発事業の回数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			12回	13回	
令和7年度進捗状況	実績	・人権講演会を1回、人権擁護委員の研修を1回行った。 ・保育所3ヶ所、幼稚園1ヶ所、小学校2ヶ所、中学校1ヶ所で人権教室を実施した。 ・汽車まつり、ふれあいフェスタにて(パンフレット・キーホルダー)を配布し、啓発を行った。 ・人権週間(12月4日～12月10日)に合わせて懸垂幕の設置とデジタルサイネージを用いて啓発活動を行った。 ・成人式にて啓発物品(ボールペン、パンフレット)を配布、市内施設にパンフレットを設置した。	指標(実績)		
			13回		
	課題等	計画通り実施した。今後も継続して行っていく。	進捗状況		
			A		
次年度の実施計画		人権講演会1回、人権街頭啓発活動2回、人権擁護委員の研修1回を予定している。			

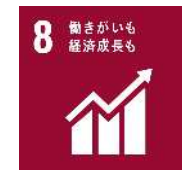
第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	3	担当課	総合政策課		
成果指標			指標		
【市民意識調査】学校教育の場において(男女の地位が)平等であると感じる人の割合			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			50.3%	70.0%	
令和7年度進捗状況	実績	「働き方」をテーマにワールド・カフェを開催。学生・社会人合計で32名が参加した。他に講演会を3回開催し、防災における男女共同参画、女性活躍推進をテーマにした。	指標(実績)		
			—		
	課題等	調査対象が児童・生徒ではないため、実態と認識に乖離がある。目標達成には、教育の場で実践されている男女平等の取組を周知する必要がある。	進捗状況		
			—		
次年度の実施計画		市民意識調査は次回令和10年度に実施予定。 学校教育の場では、すでに男女平等にむけた様々な取組がおこなわれており、市民意識調査での数値は他の指標よりも高い。 子育て世代以外へ向けて、ホームページや広報紙を活用し、これら取組の周知を図る。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	4	担当課	総合政策課		
成果指標			指標		
男女共同参画に関するセミナー、講座の実施回数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			4回	6回	
令和7年度進捗状況	実績	朝日大学と共催のワールドカフェ(テーマ:ワークライフバランス)、岐阜県男女共同参画講座(テーマ:防災)、市主催セミナー(テーマ:自治体、女性活躍)を実施。	指標(実績)		
			4回		
	課題等	令和7年度当初予算に初めてセミナー事業費が計上されたが、参加者数が目標値に届かなかったため、ワークショップなど参加しやすい形式での開催を検討していく必要がある。	進捗状況		
			B		
次年度の実施計画		令和8年度はワールドカフェ、ワークショップ(2回)のほか、岐阜県男女共同参画講座など計5回実施予定。その他、県等が実施する事業についてはホームページなどに掲載し周知し、市民の参加機会を増やす。			

基本目標Ⅱ だれもが活躍できるまちづくり【瑞穂市女性活躍推進計画】



男女共同参画社会においては、男女が社会における対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されることが必要です。女性の政策・方針決定過程への参画はこれからの社会づくり、まちづくりに大変重要な意味を持ってきます。

また、働くことは、人々が生きていくうえでの経済的基盤であると同時に、人生を豊かに生きるための自己実現の場でもあり、さらには社会貢献の場でもあることから、男女共同参画社会の実現にとって、雇用の分野は極めて重要な意味を持っています。

主要課題	施策の方向
1. 政策・方針決定過程への女性の参画の促進	(1)政策・方針決定過程への女性の参画の促進
2. 男性中心型労働慣行等の変革とワーク・ライフ・バランスの推進	(1)仕事と家庭生活の両立に向けた啓発の推進と支援
3. 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保	(1)職場における男女共同参画推進のための環境整備 (2)多様な働き方の支援

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	5	担当課	総合政策課		
成果指標			指標		
審議会等の委員における女性の割合			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			25.2%	40.0%	
令和7年度進捗状況	実績	令和7年4月1日時点の37審議会等。審議会委員数は517人中、女性委員が131人。	指標(実績)		
			25.3%		
	課題等	令和6年度実績より比率上昇。女性委員のいない審議会は1つとなった。	進捗状況		
			B		
次年度の実施計画		審議会委員の改選時期を把握し、改善措置を行う。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	6	担当課	幼児教育課		
成果指標			指標		
保育施設待機児童数			現状値 (平成30年度)	目標値 (令和11年度)	
			0人	0人	
令和7年度進捗状況	実績	令和7年度末において、待機児童数は0人だった。	指標(実績)		
			0人		
	課題等	保育所について、待機児童は現在いないが、いわゆる潜在待機児童が数十名いる。放課後児童クラブについて、年度当初から夏休みまでに受入枠を超える必要がある。	進捗状況		
			A		
次年度の実施計画		新たな保育施設の建設をサポートし、次年度から受入可能人数を増やす。 本田小校区に新たに放課後児童クラブ専用施設を建設し受入枠を増やす。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	7	担当課	総合政策課		
成果指標			指標		
【市民意識調査】職場において(男女の地位が)平等であると感じる人の割合			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			19.1%	50.0%	
令和7年度進捗状況	実績	広報紙に啓発コラム『考えよう！男女共同参画』を5回掲載(アンコンシャスバイアス、ワークライフバランス、パープルリボン、男女共同参画社会、国際女性デー)。さまざまな事例から、ジェンダー平等、男女共同参画について周知を図った。	指標(実績)		
			—		
	課題等	市内企業への周知が不足しているため、商工会との連携により周知・啓発の促進を図る。	進捗状況		
			—		
次年度の実施計画		市民意識調査は次回令和10年度に実施予定。 後期計画期間での目標指標達成を目指し、市内事業所・企業等での仕事と生活の調和の浸透と推進を図る。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	8	担当課	総合政策課		
成果指標			指標		
男女共同参画に関する事業の参加事業所数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			25社	40社	
令和7年度進捗状況	実績	ワールドカフェに2事業所、市の講座には1事業者からご参加いただいた。講演会等の実施回数は昨年度同程度であったが、参加企業は増加しなかった。	指標(実績)		
			3社		
	課題等	市の講座は土日での開催としたが、一般市民と事業所の従業員を同列に募ることに限界がある。内容(職場のハラスメント対策、ワーク・ライフ・バランスなど)による、企業向け講座の実施を検討する。	進捗状況		
			C		
次年度の実施計画		広報紙、ホームページ、SNS等で参加事業者を広く募集するとともに、SDGsパートナーなどへ協力を呼びかけ、より多くの事業所の参加を募る。講座内容においても事業所を対象とした講座、セミナー等の開催により参加企業数を増やす。			

基本目標Ⅲ だれもが安心して暮らせるまちづくり



男女共同参画社会を実現するためには、男女が生涯にわたって心身ともに健康を維持することができ、仕事、家庭生活、地域生活の活動にと個性と能力をあらゆる分野に発揮できる環境づくりが必要です。

なかでも、家庭における環境づくりは最も重要であり、男女共同参画の原点です。男女ともに家族として、相互に理解し、責任を担い、仕事、育児や介護を両立できるように相互の参画が不十分な状況を認識し、社会がこれを支援していかなくてはなりません。

主要課題	施策の方向
1. 家庭生活・地域生活における男女共同参画の推進	(1)家庭生活・地域生活における男女共同参画意識啓発の推進と支援 (2)防災・災害復興分野への女性の参画の拡大
2. 生涯を通じた健康支援	(1)生涯を通じた健康づくりの土台を築く (2)安心して楽しく出産や子育てを行うための情報と場の提供
3. 困難な状況におかれている人々への支援	(1)高齢者・障がい者・外国人等が安心して暮らせる環境の整備 (2)生活困窮者やひとり親家庭等への支援の充実
4. あらゆる暴力の根絶にむけた支援 【瑞穂市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する基本計画】	(1)DVを予防するための対策の充実 (2)DV被害者の安全確保と自立支援 (3)相談業務の充実と関係機関との連携

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	9	担当課	総合政策課		
成果指標			指標		
【市民意識調査】「家庭生活や地域活動と、仕事を同じように両立させている」の割合			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			28.3%	45.0%	
令和7年度進捗状況	実績	ワールドカフェ、講演会等を開催し、意識啓発を図った。また市広報紙では、様々な事例による啓発コラムにより情報発信を行った。	指標(実績)		
			—		
	課題等	セミナー、講演会の開催、啓発物品の配布、SNSやホームページの情報発信等、多角的かつ地道な普及・啓発活動を継続していく。	進捗状況		
			—		
次年度の実施計画		市民意識調査は次回令和10年度に実施予定。 令和8年度は、講演会等の開催(ワールドカフェ、講演会、ワークショップ)、広報紙やSNS、ホームページでの啓発記事、県が開催するセミナー等の情報発信を継続的に実施する。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	10	担当課	市民協働安全課		
成果指標			指標		
女性消防団員の人数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			10人	15人	
令和7年度進捗状況	実績	新規に1名、若い世代の団員が加わった。	指標(実績)		
			12人		
	課題等	退団者が出た際の新入団員の確保。	進捗状況		
			A		
次年度の実施計画		活動の幅を広げ女性消防団員を地域住民に認識してもらい、また、実施事業を広報等で積極的に発信していき新入団員の確保に繋げる。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	11	担当課	健康推進課		
成果指標			指標		
若年層健康診査「goodライフ健診」受診率			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			4.8%	10.0%	
令和7年度進捗状況	実績	乳幼児健診の案内と合わせてgoodライフ健診の申込み、国保加入者への受診勧奨を行っているが、受診率は横ばい。	指標(実績)		
			5.2%		
	課題等	継続受診率が低いこと。過去3年以内に受診歴があるかたへ再勧奨を行い、継続受診率の増加を図る。	進捗状況		
			C		
次年度の実施計画		・一斉発送を除く20～38歳国保加入者への健診票送付を継続し、受診率向上を目指す。 ・上記対象者にハガキによる再勧奨、乳幼児健診の案内に健診申し込みの同封を継続し、健診の必要性を広く周知することで受診率向上を目指す。 ・過去3年間の受診歴のあるものに受診勧奨をすることで継続受診率の向上を目指す。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	12	担当課	子ども支援課		
成果指標			指標		
妊産婦教室への男性参加割合			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			38.3%	40.0%	
令和7年度進捗状況	実績	男性の育休取得や過ごし方等の情報交換場所(機会)の提供を含めた新規事業「産前産後交流会」を開始したことにより参加者は増加しているが男性の参加は横ばいである。	指標(実績)		
			34.7%		
	課題等	出産前の妊娠期から男性が育児参加準備を行う意識改革や父親支援をメインとした講座の開設	進捗状況		
			A		
次年度の実施計画		妊娠期～乳児期の子育て世帯が興味を持つような教室の企画を行い、アプリを通して周知も行う。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	13	担当課	地域福祉高齢課		
成果指標			指標		
第2層地域支え合い推進会議への女性参加割合			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			28.9%	30.0%	
令和7年度進捗状況	実績	各校区の女性参加割合は生津小校区48%、本田小校区33%、穂積小校区50%、牛牧校区33%、西小校区26% 5校区平均38%。	指標(実績)		
			38.0%		
	課題等	校区によって、女性参加割合に大きく差があるため参加割合が低いところを重点的に参加を呼び掛ける。	進捗状況		
			A		
次年度の実施計画		自治会や校区組織の役員ではない女性にも参加してもらえるよう工夫して進めることを考えていく。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	14	担当課	福祉生活課		
成果指標			指標		
就労支援員の支援により雇用に至った者の人数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			12人	25人	
令和7年度進捗状況	実績	高齢・疾病等による就労阻害要因のない被保護者に就労支援の説明をし、ハローワークへ同行、職業相談・職業紹介を推し進め応募・採用の向上に努めた。ひとり親の方へも支援説明を行い、トライアル求人、職業訓練受講の提案をした。特定求職者雇用開発助成金もあり、ひとり親・高齢者・障がい者の支援に活用した。	指標(実績)		
			18人		
	課題等	①保護開始から日が浅く、早期就労可能な被保護者への支援の強化。②ハローワーク求人の他、求人情報誌等による情報の提供。③就労後の電話による状況確認。④傷病のある方は完治の後、就労活動を開始。⑤意欲の無い者、パフォーマンスだけの者への対応(打切)。	進捗状況		
			B		
次年度の実施計画		就労意欲の高い者について、ハローワークの集中支援の活用を検討し、就労支援員を通じて協議を行い、短期間での自立を図れるようにする。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	15	担当課	子ども支援課		
成果指標			指標		
各種イベントの際のDVに関する広報啓発活動の回数			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			2回	3回	
令和7年度進捗状況	実績	・市内イベントや会議、子ども食堂、20歳を祝う会での啓発活動と啓発物品の配布。 ・課の窓口にて対象者の方に啓発物品の配布。 ・11月のDV防止月間に相談窓口の周知のため、広報に記事を掲載。	指標(実績)		
			4回		
	課題等	DV防止月間だけではなく、年間を通して継続的に啓発し、相談の窓口の周知に努めたい。	進捗状況		
			A		
次年度の実施計画		窓口での啓発活動だけでなく広報やホームページ・アプリ等のメディアを活用しての情報提供や、親子ふれあい教室等参加型イベントでの啓発活動を行う。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	16	担当課	子ども支援課		
成果指標			指標		
DVの相談を受けた中で、安全確保や自立につながった割合			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			50.0%	50.0%	
令和7年度進捗状況	実績	DV相談者への関わりの中で、安全確保や自立支援に繋げることができた。	指標(実績)		
			46.0%		
	課題等	相談者の意思を尊重しつつ、安全確保や自立支援の意識を持ってもらえるように相談支援をしていく。	進捗状況		
			A		
次年度の実施計画		DV防止法に基づき、関係各部署及び職員間で迅速な連携・情報共有を図り、被害者の安全確保・自立に向けた支援を継続的に行う。			

第2次瑞穂市男女共同参画基本計画プラン進捗管理シート

NO	17	担当課	子ども支援課		
成果指標			指標		
【市民意識調査】DV被害者が関係機関等に相談した割合			現状値 (令和5年度)	目標値 (令和11年度)	
			26.5%	50.0%	
令和7年度進捗状況	実績	潜在的なDV被害者と関わることは難しく、相談実績数は横ばいだが、相談窓口の啓発に努める。	指標(実績)		
			—		
	課題等	関係機関や相談窓口の周知のため啓発活動	進捗状況		
			—		
次年度の実施計画		相談窓口を明確化し、DVが疑われる様子があれば、相談・自立に向けた迅速な支援を行うことのできる体制づくり。			